

厚生労働科学研究費補助金
国際生活機能分類児童版（ICF-CY）の妥当性に関する研究事業

分担研究報告書

ICF 評価点における有用性の検討～ICF コアセットを用いて～

研究分担者 山田 深 杏林大学医学部リハビリテーション医学教室 講師

研究要旨

脳卒中急性期患者を対象として ICF コアセットを用い、ICF 評価点および ICF コアセットの利便性、ICF のスタッフ間の情報共有ツールとしての有用性を検討した。初発脳卒中患者 56 名において入院時に実行状況と個人の能力に有意差のあったカテゴリーは d420 移乗、および d540 更衣であった。入退院時の評価点については d455 移動、d465 用具を用いての移動などを除き、有意差を認めた。ICF コアセットを用いて比較検討が可能なデータを取得するとともに、ICF 評価点によりケアの前後での変化を捉えることができた。ICF-CY の普及を図る上では ICF コアセットのような病態、疾患に合わせたカテゴリーの組み合わせが必要となると考えられる。

A. 研究目的

ICF-CY の普及を検討するにあたっては、ICF-CY の元となっている ICF そのものの利便性を再考する必要がある。今回 WHO-FIC の年次会合に参加したが、いかにして ICF の利便性を高めるかの議論が活発になされていた。ICF 評価点における 5 段階評価（0 点：問題なし（0・4%）1 点：軽度の問題（5・24%）2 点中等度の問題（25・49%）、3 点重度の問題（50・95%）、4 点完全な問題（96・100%）の 5 段階、及び詳細不明（情報なし）、非該当の全 7 項目）自体は簡便であるが、評価する生活機能について数多いカテゴリーのなかから適切なものを選択することは容易でなく、他の症例（群）との比較検討を目的とするような場合は、共通のカテゴリーを用いる必要があ

る。そのため、生活機能の評価について共通して用いるべき核となるカテゴリーを定めた ICF コアセットが ICF Research Branch のメンバーらによって開発された。我が国でも 2015 年に ICF コアセットマニュアルの日本語版¹⁾ が出版され、普及が進められようとしている。ICF コアセットは特定の健康状態、健康状態群、そして医療背景に対して最も関連のある ICF のカテゴリーを提示するもので、これまでに 31 種類が公開されている。

今回、脳卒中急性期患者を対象として ICF コアセットを用い、ケアの介入効果としての生活機能、ならびに実行状況と個人の能力を数値化したデータをもとに、ICF 評価点および ICF コアセットの利便性、ICF のスタッフ間の情報共有ツールとして

の有用性を検討した。

B. 研究方法

2015年8月1日から9月30日の間に当院脳卒中センターに入院して加療を行った初発脳卒中患者のうち、TIA、死亡退院等を除く56名（男性37名、女性19名、平均年齢73.2±13.5歳）を対象とし、「急性ケアにおける神経系健康状態のためのICF記録用フォーム（短縮版）」（添付資料）を用い入退院時の生活機能を評価した。「身体構造（Body Functions）」は医師と看護師、「活動（Activities）と参加（Participation）」における実行状況（performance）は看護師、個人の能力（capacity）は病棟専従のリハビリテーション（以下、リハ）スタッフが、環境因子の評価は医療ソーシャルワーカーが担当した。採点に先立ってスタッフ向けにICFとICF評価点に関する勉強会を開催し、採点の方法を伝達した。また、NIH Stroke Scale、Functional Independence Measure（FIM）、病型、入院日数、転帰先についても併せてデータを収集した。ICFの各カテゴリーにおける評価点についての経時的変化、ならびに実行状況と個人の能力の差異をノンパラメトリック検定により検証した。統計ソフトはStatview Ver.5.0（SAS Institute.）を使用し、Wilcoxonの符号付比較検定を用いて各値を比較した。

尚、本研究は杏林大学医学部付属病院倫理委員会の承認（2015-16）を経て実施した。

C. 研究結果

対象症例における病型の内訳はアテローム血栓性9名、心原性塞栓8名、ラクナ梗

塞11名、脳出血15名、その他13名であった。入院時NIHSS中央値（四分位範囲）は4.5（2.0・7.0）、入院時FIMは運動項目26.0（13.7・49.2）、認知項目20.0（11.0・27.0）、退院時はそれぞれ54.5（21.0・87.25）、21.0（11.0・32.25）であった。在院日数は34.8±17.9日で、転帰先の分布は図1に示す通りであった。

「急性ケアにおける神経系健康状態のためのICFコアセット（短縮版）」における「活動と参加」の入退院時ICF評価点を表1に示す。d455移動、d465用具を用いての移動、d850報酬を伴う仕事は詳細不明もしくは非該当（欠測値として処理）が多く、有効な解析結果が得られなかった。入院時に実行状況と個人の能力に有意差のあったカテゴリーはd420移乗、およびd540更衣であった。両者ともに、退院時には実行状況と個人の能力に差は認められなくなっていた。その他のカテゴリーは入退院時ともに実行状況と個人の能力に差は認められなかった。d420移乗とd540更衣について、実行状況と個人の能力における評価点の分布を図2に示す。いずれのカテゴリーも実行状況が個人の能力を下回る傾向が見られた。入退院時の評価点の比較については、d455移動、d465用具を用いての移動、d850報酬を伴う仕事、およびd760家族関係を除き、有意差を認めた。なお、身体機能と環境因子のカテゴリーについては現在データを解析中である。

D. 考察

脳卒中急性期患者に対してICFコアセットを用いることで、特定の患者群における生活機能について比較検討が可能なデータ

を取得することができた。また、ICF 評価点を用いて、ケアの前後での変化を捉えることができた。ICF は看護やリハの介入目標を設定し、実施内容の効果を検証する上で有用である。今回は短縮版コアセットを用いて概ね患者の ADL をカバーしたが、カテゴリ数の多い包括版のコアセットを用いれば、より詳細な評価が可能である。ただし、一部のカテゴリは非該当もしくは詳細不明と評価されることが多く、「神経系健康状態のための ICF コアセット」に採用されている全ての項目が我が国における脳卒中急性期患者の評価に必要であるかどうかは今後検討の余地がある。d455 移動は“疾走”や“スキップ”することが評価の対象となり、高齢者の生活にはなじみが薄いと考えられ、d455 用具を用いての移動は車椅子や歩行器の他にスケート、スキー、スキューバダイビングなどの使用が含まれ、評価対象の設定自体に問題があるように見受けられた。d850 報酬を伴う仕事については、退職後の高齢患者が多かったため非該当となるケースが多かった。d760 家族関係は短期間では変化し難いが、退院先の調整などには欠かすことのできない重要な情報であり、横断的には意味のあるカテゴリであると考えられる。

実行状況と個人の能力を分けて「活動と参加」を評価することは ICF の特徴である。脳卒中診療におけるリハの分野で広く用いられている ADL の評価尺度である FIM が“実際にしている ADL”を評価するルールとなっている一方で、ICF では、サポートがあった上で実際に行っていることと能力としてできることを併せて評価することで、介入効果をより明確に評価することが可能

となっている。実行状況と個人の能力に解離のあった d420 移乗と d540 更衣は、脳卒中急性期患者のケアを行う上で特に焦点を当てるべき ADL であり、スタッフ間の情報の共有に注意を要する項目である。看護介入とリハスタッフの協同は効果的なケアに重要であるが、病棟カンファレンスなどを通してケアに関わるスタッフが対応を統一し、リハの内容を病棟での日常生活に活かすことが、生活機能の向上につながるといえる。

今回のデータでは、d420 移乗と d540 更衣においては個人の能力よりも実行状況が低い結果であった。移乗動作や更衣動作は介助者が手を出してしまいやすい傾向がある。最終的な退院時の評価では両者に差はなくなっており、臨床での現場における個人の能力と実施状況の解離は病棟スタッフの取り組みによって改善されたと考えられる。看護師とリハスタッフが ICF という共通の評価ツールを用いて早期から介入目標を設定することは、ケアの一層の充足につながるであろう。一方、ICF はプラスの側面を評価するといわれているが、本来は個人の能力として不足する部分を何らかのサポートによって補い、実行状況が上回る状態にしていく努力を怠ってはならない。身体機能の回復がプラトーとなる、いわゆる回復期から維持期にかけては、本人の能力としての「活動と参加」に対してプラスに作用するような働きかけが、より重要性を増してくるものと考えられる。急性期の脳卒中患者に対して、実効状況が個人の能力を上回る状態を目指したアプローチをどのように検討していくかは、我々の病棟の今後の課題である。

E. 結論

ICF コアセットの評価を行うことで、脳卒中急性期患者へのケアの提供について多職種間で共通認識を持つことができ、介入の効果が確認された。とくに移乗、更衣動作における看護師とリハスタッフの協働は、効果的なケアを提供するために重要である。

急性期病棟における脳卒中患者の評価に適したICF コアセットカテゴリーの組み合わせについては、今後検討の余地がある。一方、ICF-CY の普及を図る上でもICF コアセットのような病態、疾患に合わせたカテゴリーの組み合わせが必要となる。ICF-CY における特定のカテゴリーを用いた小児領域での評価の検討も考えていきたい。

【文献】

1) Bickenbach JE, et al. 著, 日本リハビリテーション医学会 監訳: ICF コアセット臨床実践のためのマニュアル, 医歯薬出版, 東京, 2015

G. 研究発表

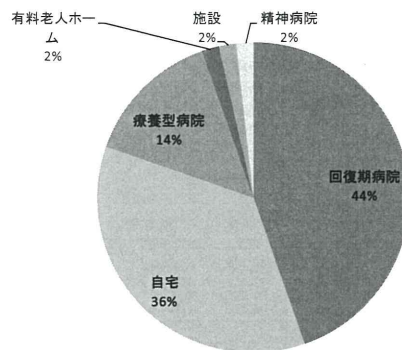
1. 学会発表

Yamada S, Okajima Y, Nagata M, Hirano T, Shiokawa Y: Use of an ICF Core Set in Acute Rehabilitation for Stroke Patients with Higher Order Brain Dysfunction. International Society Physical Medicine, Berlin, 2015.6.

H. 知的財産権の出願・登録状況

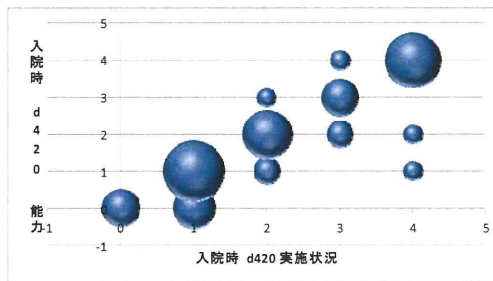
該当なし

図 1

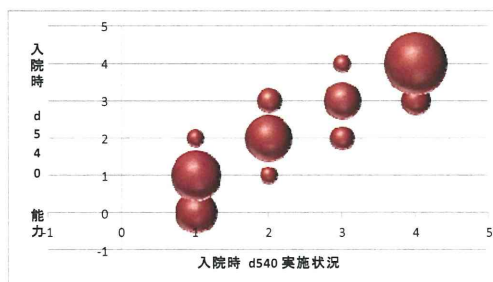


退院先の分布

図 2



A d420 移乗における入院時実施状況と能力



B d540 更衣における入院時実施状況と能力
(円の大きさは人数を表す)

表1 各カテゴリーの評価点

A 入院時および退院時における実行状況と能力の比較

カテゴリー	コード	入院時 実施状況	入院時 能力	欠損値数	p値	退院時 実施状況	退院時 能力	欠損値数	p値
日課の遂行	d230	3(1.75~4)	3(2~4)	3	n.s.	1(0~3)	2(0~3)	1	n.s.
コミュニケーション用具および技法の利用	d360	2(0~4)	2(0.75~3)	7	n.s.	1(0~3)	1(0~3)	1	n.s.
基本的な姿勢の変換	d410	2(1~3.25)	2(1~4)	6	n.s.	1(0~2.25)	1(0~2.25)	1	n.s.
姿勢の保持	d415	2(1~3)	2(1~4)	5	n.s.	1(0~2)	1(0~3)	1	n.s.
乗り移り(移乗)	d420	2(1~4)	2(1~4)	8	p<0.05	1(0~2.25)	1(0~2)	1	n.s.
歩行	d450	3(1~4)	3(1~4)	10	n.s.	1(0~4)	1(0~4)	8	n.s.
移動(走るなど)	d455	8(8~9)	8(7~9)	53	※	8(4~9)	8(4~9)	42	※
用具を用いての移動	d465	8(4~9)	6(4~9)	38	n.s.	8(2~9)	4(2~9)	32	n.s.
自分の身体を洗うこと	d510	3(1~4)	3(1~4)	8	n.s.	1(0~3)	1.5(0~3)	1	n.s.
身体各部の手入れ(洗顔、洗体ほか)	d520	3(1.75~4)	3(1~4)	5	n.s.	1.5(0~3)	2(0~3)	1	n.s.
排泄	d530	2(1~3.25)	2(1~4)	3	n.s.	1(0~3)	1(0~3)	1	n.s.
更衣	d540	2.5(1~4)	3(1~4)	4	p<0.05	1(0~3)	1(0~3)	2	n.s.
食べること	d550	2(1~4)	2(1~4)	3	n.s.	1(0~2)	1(0~2)	1	n.s.
飲むこと	d560	2(1~4)	2(0.75~4)	5	n.s.	1(0~2)	1(0~2)	1	n.s.
家族関係	d760	0(0~1)	1(0~8)	17	n.s.	0(0~1)	0(0~1.25)	11	n.s.
報酬を伴う仕事	d850	8(8~9)	9(7~9)	48	※	9(8~9)	9(8~9)	56	※

B 実行状況と能力における入院時と退院時の比較

カテゴリー	コード	入院時 実施状況	退院時 実施状況	欠損値数	p値	入院時 能力	退院時 能力	欠損値数	p値
日課の遂行	d230	3(1.75~4)	1(0~3)	1	p<0.01	3(2~4)	2(0~3)	2	p<0.01
コミュニケーション用具および技法の利用	d360	2(0~4)	1(0~3)	6	p<0.01	2(0.75~3)	1(0~3)	1	p<0.01
基本的な姿勢の変換	d410	2(1~3.25)	1(0~2.25)	1	p<0.01	2(1~4)	1(0~2.25)	5	p<0.01
姿勢の保持	d415	2(1~3)	1(0~2)	1	p<0.01	2(1~4)	1(0~3)	5	p<0.01
乗り移り(移乗)	d420	2(1~4)	1(0~2.25)	1	p<0.01	2(1~4)	1(0~2)	7	p<0.01
歩行	d450	3(1~4)	1(0~4)	5	p<0.01	3(1~4)	1(0~4)	12	p<0.01
移動(走るなど)	d455	8(8~9)	8(4~9)	50	n.s.	8(7~9)	8(4~9)	43	n.s.
用具を用いての移動	d465	8(4~9)	8(2~9)	38	p<0.01	6(4~9)	1.5(0~3)	31	p<0.01
自分の身体を洗うこと	d510	3(1~4)	1(0~3)	1	p<0.01	3(1~4)	1.5(0~3)	7	p<0.01
身体各部の手入れ(洗顔、洗体ほか)	d520	3(1.75~4)	1.5(0~3)	2	p<0.01	3(1~4)	2(0~3)	3	p<0.01
排泄	d530	2(1~3.25)	1(0~3)	0	p<0.01	2(1~4)	1(0~3)	3	p<0.01
更衣	d540	2.5(1~4)	1(0~3)	1	p<0.01	3(1~4)	1(0~3)	4	p<0.01
食べること	d550	2(1~4)	1(0~2)	1	p<0.01	2(1~4)	1(0~2)	2	p<0.01
飲むこと	d560	2(1~4)	1(0~2)	2	p<0.01	2(0.75~4)	1(0~2)	3	p<0.01
家族関係	d760	0(0~1)	0(0~1)	4	n.s.	1(0~8)	0(0~1.25)	17	n.s.
報酬を伴う仕事	d850	8(8~9)	9(8~9)	55	※	9(7~9)	9(8~9)	47	n.s.

値は中央値(四分範囲)

※: 欠損値が多く統計処理不可, n.s.: 統計学的有意差なし

添付:

(急性期ケアにおける) 神経系健康状態のための ICF 記録用フォーム (短縮版)

(急性期ケアにおける) 神経系健康状態のための ICF コアセット (短縮版)

※転載不可

急性期ケアにおける神経系健康状態のための ICF 記録用フォーム (短縮版)

一般セットに属する ICF カテゴリーを濃い灰色の背景で示す。これはすべての記録用フォームに組み込まれている。

°急性期ケアにおける神経系健康状態のための短縮版 ICF コアセットに含まれていない一般セットのカテゴリー

心身機能 =身体系の生理的機能 (心理的機能を含む) 個人が~に関してどの程度の機能障害を有しているか		機能障害なし	軽度の機能障害	中等度の機能障害	重度の機能障害	完全な機能障害	詳細不明	非該当
b110	意識機能	0	1	2	3	4	8	9
<p>周囲への意識性、明瞭性の状態に関する全般的な精神機能であり、覚醒状態の清明度と連続性を含む。 含まれるもの：意識の状態、連続性、質に関する機能。意識消失、昏睡、植物状態、遁走、トランス、憑依(つきもの)状態、薬物による意識変化、せん妄、ステューパ(中等度意識混濁)。 除かれるもの：見当識機能(b114)、活力と欲動の機能(b130)、睡眠機能(b134)。</p> <p>情報源： <input type="checkbox"/>病歴 <input type="checkbox"/>患者質問紙 <input type="checkbox"/>診察 <input type="checkbox"/>専門的検査</p> <p>問題の記述：</p>								
b130 [°]	活力と欲動の機能	0	1	2	3	4	8	9
<p>個別的なニーズと全体的な目標を首尾一貫して達成させるような、生理的および心理的機序としての全般的な精神機能。 含まれるもの：活力レベル、動機づけ、食欲に関する機能。渴望(依存を起こす物質への渴望を含む)。衝動の制御。 除かれるもの：意識機能(b110)、気質と人格の機能(b126)、睡眠機能(b134)、精神運動機能(b147)、情動機能(b152)。</p> <p>情報源： <input type="checkbox"/>病歴 <input type="checkbox"/>患者質問紙 <input type="checkbox"/>診察 <input type="checkbox"/>専門的検査</p> <p>問題の記述：</p>								
b140	注意機能	0	1	2	3	4	8	9
<p>所定の時間、外的刺激や内的経験に集中する個別的な精神機能。 含まれるもの：注意の維持、注意の移動、注意の配分、注意の共有の機能。注意集中。注意散漫(転導性)。 除かれるもの：意識機能(b110)、活力と欲動の機能(b130)、睡眠機能(b134)、記憶機能(b144)、精神運動機能(b147)、知覚機能(b156)。</p> <p>情報源： <input type="checkbox"/>病歴 <input type="checkbox"/>患者質問紙 <input type="checkbox"/>診察 <input type="checkbox"/>専門的検査</p> <p>問題の記述：</p>								

b152 [∞]	情動機能	0	1	2	3	4	8	9	
<p>こころの過程における感情的要素に関連する個別的精神機能。 含まれるもの：情動の適切性，情動の制御，情動の幅の機能。感情。悲哀，幸福，愛情，恐れ，怒り，憎しみ，緊張，不安，喜び，悲しみ，情動の不安定性。感情の平板化。 除かれるもの：気質と人格の機能 (b126)，活力と欲動の機能 (b130)。</p>									
<p>情報源： <input type="checkbox"/>病歴 <input type="checkbox"/>患者質問紙 <input type="checkbox"/>診察 <input type="checkbox"/>専門的検査</p>									
<p>問題の記述：</p>									
b167	言語に関する精神機能	0	1	2	3	4	8	9	
<p>サイン(記号)やシンボル(象徴)，その他の言語要素を認識し，使用する個別的精神機能。 含まれるもの：話し言葉(音声言語)，書き言葉，および手話など他の形式の言語の受容と解釈の機能。話し言葉，書き言葉，およびその他の形式の言語による表出，話し言葉と書き言葉の統合的な言語機能。例えば受容性失語，表出性失語，ブローカ失語，ウェルニッケ失語，伝導失語で障害される機能。 除かれるもの：注意機能 (b140)，記憶機能 (b144)，知覚機能 (b156)，思考機能 (b160)，高次認知機能 (b164)，計算機能 (b172)，複雑な運動を順序立てて行う精神機能 (b176)，第2章 感覚機能と痛み，第3章 音声と発話の機能。</p>									
<p>情報源： <input type="checkbox"/>病歴 <input type="checkbox"/>患者質問紙 <input type="checkbox"/>診察 <input type="checkbox"/>専門的検査</p>									
<p>問題の記述：</p>									
b215	目に付属する構造の機能	0	1	2	3	4	8	9	
<p>視覚機能を助ける，眼球内および周囲の構造の機能。 含まれるもの：随意的眼球運動，追視運動，目の固視などに関与する内眼筋，眼瞼，外眼筋の機能。その他，涙腺の機能，輻輳や瞳孔反射に関与する機能。機能障害の例としては，眼振，眼球乾燥症，眼瞼下垂。 除かれるもの：視覚機能 (b210)，第7章 神経筋骨格と運動に関連する機能。</p>									
<p>情報源： <input type="checkbox"/>病歴 <input type="checkbox"/>患者質問紙 <input type="checkbox"/>診察 <input type="checkbox"/>専門的検査</p>									
<p>問題の記述：</p>									
b235	前庭機能	0	1	2	3	4	8	9	
<p>位置，バランス，運動に関する内耳の感覚機能。 含まれるもの：位置と位置覚の機能。身体のバランスと運動に関する機能。 除かれるもの：聴覚と前庭の機能に関連した感覚 (b240)。</p>									
<p>情報源： <input type="checkbox"/>病歴 <input type="checkbox"/>患者質問紙 <input type="checkbox"/>診察 <input type="checkbox"/>専門的検査</p>									
<p>問題の記述：</p>									
b240	聴覚と前庭の機能に関連した感覚	0	1	2	3	4	8	9	
<p>浮動性めまい，転倒感，耳鳴り，回転性めまいの感覚。 含まれるもの：耳鳴り，耳内の違和感，耳閉感，浮動性めまいや回転性めまいに伴う吐き気。 除かれるもの：前庭機能 (b235)，痛みの感覚 (b280)。</p>									
<p>情報源： <input type="checkbox"/>病歴 <input type="checkbox"/>患者質問紙 <input type="checkbox"/>診察 <input type="checkbox"/>専門的検査</p>									
<p>問題の記述：</p>									

b270	温度やその他の刺激に関連した感覚機能	0	1	2	3	4	8	9
<p>温度，振動圧，侵害刺激を感じる感覚機能。 含まれるもの：温度，振動，震えや動揺，表面の圧迫，深部の圧迫，灼熱感，侵害刺激を感じる感覚。 除かれるもの：触覚 (b265)，痛みの感覚 (b280)。</p>								
<p>情報源： <input type="checkbox"/>病歴 <input type="checkbox"/>患者質問紙 <input type="checkbox"/>診察 <input type="checkbox"/>専門的検査</p>								
<p>問題の記述：</p>								
b280 ^{oo}	痛みの感覚	0	1	2	3	4	8	9
<p>身体部位の損傷やその可能性を示す，不愉快な感覚。 含まれるもの：全身的な痛み，局所的な痛み，一皮節内の痛み，刺すような痛み，焼けるような痛み，鈍痛，疼くような痛み。 機能障害の例としては，筋痛，痛覚脱失，痛覚過敏。</p>								
<p>情報源： <input type="checkbox"/>病歴 <input type="checkbox"/>患者質問紙 <input type="checkbox"/>診察 <input type="checkbox"/>専門的検査</p>								
<p>問題の記述：</p>								
b415	血管の機能	0	1	2	3	4	8	9
<p>全身に血液を運搬する機能。 含まれるもの：動脈，毛細血管，静脈の機能。血管運動機能。肺動脈，肺毛細血管，肺静脈の機能。静脈弁の機能。機能障害の例としては，動脈の閉塞や狭窄，粥状硬化，動脈硬化，血栓塞栓，静脈瘤。 除かれるもの：心機能 (b410)，血圧の機能 (b420)，血液系の機能 (b430)，運動耐容能 (b455)。</p>								
<p>情報源： <input type="checkbox"/>病歴 <input type="checkbox"/>患者質問紙 <input type="checkbox"/>診察 <input type="checkbox"/>専門的検査</p>								
<p>問題の記述：</p>								
b430	血液系の機能	0	1	2	3	4	8	9
<p>造血機能，酸素と代謝物質の運搬機能，および凝固機能。 含まれるもの：血液の産生と骨髄の機能。血液の酸素運搬機能。血液に関する脾臓の機能。血液の代謝物質運搬機能。凝固機能。機能障害の例としては，貧血，血友病とその他の凝固異常。 除かれるもの：心血管系の機能 (b410-b429)，免疫系の機能 (b435)，運動耐容能 (b455)。</p>								
<p>情報源： <input type="checkbox"/>病歴 <input type="checkbox"/>患者質問紙 <input type="checkbox"/>診察 <input type="checkbox"/>専門的検査</p>								
<p>問題の記述：</p>								
b440	呼吸機能	0	1	2	3	4	8	9
<p>肺に空気を吸い込み，空気と血液間でガス交換を行い，空気を吐き出す機能。 含まれるもの：呼吸数，呼吸リズム，呼吸の深さ。機能障害の例としては，無呼吸，過呼吸，不規則な呼吸，奇異性呼吸，肺気腫，気管攣縮。 除かれるもの：呼吸筋の機能 (b445)，その他の呼吸機能 (b450)，運動耐容能 (b455)。</p>								
<p>情報源： <input type="checkbox"/>病歴 <input type="checkbox"/>患者質問紙 <input type="checkbox"/>診察 <input type="checkbox"/>専門的検査</p>								
<p>問題の記述：</p>								

b525	排便機能	0	1	2	3	4	8	9	
<p>老廃物と未消化の食物を便として排出およびそれに関連する機能。 含まれるもの：排出，便の固さ，排便の頻度に関する機能。便意の抑制，鼓腸。機能障害の例としては，便秘，下痢，水様便，便失禁（肛門括約筋不全）。 除かれるもの：消化機能（b515），同化機能（b520），消化器系に関連した感覚（b535）。</p>									
<p>情報源： <input type="checkbox"/>病歴 <input type="checkbox"/>患者質問紙 <input type="checkbox"/>診察 <input type="checkbox"/>専門的検査</p>									
<p>問題の記述：</p>									
b535	消化器系に関連した感覚	0	1	2	3	4	8	9	
<p>食べることや飲むこと，および消化に関連した機能から生じる感覚。 含まれるもの：吐き気，膨満感，腹部の痙攣感，胃の充満感，球感覚（ヒステリーの際に食道を球が上下する感覚），胃痙攣，胃のガス貯留，胸やけ。 除かれるもの：痛みの感覚（b280），摂食機能（b510），消化機能（b515），排便機能（b525）。</p>									
<p>情報源： <input type="checkbox"/>病歴 <input type="checkbox"/>患者質問紙 <input type="checkbox"/>診察 <input type="checkbox"/>専門的検査</p>									
<p>問題の記述：</p>									
b710	関節の可動性の機能	0	1	2	3	4	8	9	
<p>関節の可動域と動きやすさの機能。 含まれるもの：脊椎，肩，肘，手，股，膝，足の関節や手と足の小関節の，1つまたは複数の関節の可動性。全身の関節の可動性に関連する機能。機能障害の例としては，関節の過度運動性，有痛性関節運動制限，また五十肩，関節炎でみられる障害。 除かれるもの：関節の安定性の機能（b715），随意運動の制御機能（b760）。</p>									
<p>情報源： <input type="checkbox"/>病歴 <input type="checkbox"/>患者質問紙 <input type="checkbox"/>診察 <input type="checkbox"/>専門的検査</p>									
<p>問題の記述：</p>									
b715	関節の安定性の機能	0	1	2	3	4	8	9	
<p>関節の構造の恒常性を維持する機能。 含まれるもの：1つの関節，複数の関節，全身の関節の安定性に関連する機能。機能障害の例としては，不安定な肩関節，関節脱臼，肩関節脱臼，股関節脱臼。 除かれるもの：関節の可動性の機能（b710）。</p>									
<p>情報源： <input type="checkbox"/>病歴 <input type="checkbox"/>患者質問紙 <input type="checkbox"/>診察 <input type="checkbox"/>専門的検査</p>									
<p>問題の記述：</p>									

身体構造 =器官・肢体とその構成部分などの，身体の解剖学的部分 個人が～に関してどの程度の構造障害を有しているか			構造障害なし	軽度の構造障害			中等度の構造障害			重度の構造障害			完全な構造障害		詳細不明	非該当
s110	脳の構造	程度	0	1			2			3			4		8	9
		性質*	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9				
		部位**	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9				
情報源： <input type="checkbox"/> 病歴 <input type="checkbox"/> 患者質問紙 <input type="checkbox"/> 診察 <input type="checkbox"/> 専門的検査																
問題の記述：																
s120	脊髄と関連部位の構造	程度	0	1			2			3			4		8	9
		性質*	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9				
		部位**	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9				
情報源： <input type="checkbox"/> 病歴 <input type="checkbox"/> 患者質問紙 <input type="checkbox"/> 診察 <input type="checkbox"/> 専門的検査																
問題の記述：																
s710	頭頸部の構造	程度	0	1			2			3			4		8	9
		性質*	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9				
		部位**	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9				
情報源： <input type="checkbox"/> 病歴 <input type="checkbox"/> 患者質問紙 <input type="checkbox"/> 診察 <input type="checkbox"/> 専門的検査																
問題の記述：																

* 身体構造の構造障害の性質の評価：0=構造に変化なし，1=全欠損，2=部分的欠損，3=付加的な部分，4=異常な大きさ，5=不連続，6=位置の変異，7=構造上の質的变化，8=詳細不明，9=非該当

** 身体構造の構造障害の部位の評価：0=2部位以上，1=右，2=左，3=両側，4=全面，5=後面，6=近位，7=遠位，8=詳細不明，9=非該当

活動と参加 ＝課題や行為の個人による遂行，および生活・人生場面への関わり 個人が～に関してどの程度の困難を有しているか P＝～の実行状況 C＝～における能力		困難なし	軽度の困難	中等度の困難	重度の困難	完全な困難	詳細不明	非該当	
		P	0	1	2	3	4	8	9
d230 ^o	日課の遂行	C	0	1	2	3	4	8	9
		P	0	1	2	3	4	8	9
<p>日々の手続きや義務に必要なことを，計画，管理，達成するために，単純な行為または複雑で調整された行為を遂行すること。 例えば，1日を通してのさまざまな活動の時間を配分し，計画を立てること。 含まれるもの：日課の管理，達成，自分の活動レベルの管理。 除かれるもの：複数課題の遂行(d220)。</p> <p>情報源： <input type="checkbox"/>病歴 <input type="checkbox"/>患者質問紙 <input type="checkbox"/>診察 <input type="checkbox"/>専門的検査</p> <p>問題の記述： P： C：</p>									
d360	コミュニケーション用具および技法の利用	C	0	1	2	3	4	8	9
		P	0	1	2	3	4	8	9
<p>コミュニケーションのために，器具や技法，その他の手段を用いること。例えば，電話で友人と話すこと。 含まれるもの：遠隔通信用具の利用，書字用具の利用，コミュニケーション技法の利用。</p> <p>情報源： <input type="checkbox"/>病歴 <input type="checkbox"/>患者質問紙 <input type="checkbox"/>診察 <input type="checkbox"/>専門的検査</p> <p>問題の記述： P： C：</p>									
d410	基本的な姿勢の変換	C	0	1	2	3	4	8	9
		P	0	1	2	3	4	8	9
<p>ある姿勢になること。ある姿勢をやめること。ある位置から他の位置への移動。例えば，椅子から立ち上がってベッドに横になること。ひざまずいたり，しゃがむことやその姿勢をやめること。 含まれるもの：横たわったり，しゃがんだり，ひざまずいたり，座ったり，立ったり，体を曲げたり，重心を移動した状態から，姿勢を変えること。 除かれるもの：乗り移り(移乗)(d420)。</p> <p>情報源： <input type="checkbox"/>病歴 <input type="checkbox"/>患者質問紙 <input type="checkbox"/>診察 <input type="checkbox"/>専門的検査</p> <p>問題の記述： P： C：</p>									

d415	姿勢の保持	P	0	1	2	3	4	8	9
		C	0	1	2	3	4	8	9
<p>仕事や授業で座ったままでいたり，立ったままでいる時のように，必要に応じて同じ姿勢を保つこと。 含まれるもの：臥位，しゃがみ位，ひざまずいた姿勢，座位，立位の保持。</p> <p>情報源： <input type="checkbox"/>病歴 <input type="checkbox"/>患者質問紙 <input type="checkbox"/>診察 <input type="checkbox"/>専門的検査</p> <p>問題の記述： P： C：</p>									
d420	乗り移り(移乗)	P	0	1	2	3	4	8	9
		C	0	1	2	3	4	8	9
<p>姿勢を変えずにベンチの上で横に移動する時や，ベッドから椅子への移動の時のように，ある面から他の面へと移動すること。 含まれるもの：座位あるいは臥位のままで乗り移り。 除かれるもの：基本的な姿勢の変換(d410)。</p> <p>情報源： <input type="checkbox"/>病歴 <input type="checkbox"/>患者質問紙 <input type="checkbox"/>診察 <input type="checkbox"/>専門的検査</p> <p>問題の記述： P： C：</p>									
d450 ^o	歩行	P	0	1	2	3	4	8	9
		C	0	1	2	3	4	8	9
<p>常に片方の足が地面についた状態で，一步一步，足を動かすこと。例えば，散歩，ぶらぶら歩き，前後左右への歩行。 含まれるもの：短距離あるいは長距離の歩行，さまざまな地面あるいは床面上の歩行，障害物を避けての歩行。 除かれるもの：乗り移り(移乗)(d420)，移動(d455)。</p> <p>情報源： <input type="checkbox"/>病歴 <input type="checkbox"/>患者質問紙 <input type="checkbox"/>診察 <input type="checkbox"/>専門的検査</p> <p>問題の記述： P： C：</p>									
d455 ^o	移動	P	0	1	2	3	4	8	9
		C	0	1	2	3	4	8	9
<p>歩行以外の方法によって，ある場所から別の場所へと身体全体を移動させること。例えば，岩を登る，通りを駆ける，スキップする，疾走する，跳ぶ，とんぼ返りする，障害物の周囲を走り回る。 含まれるもの：這うこと，登り降りすること，走ること，ジョギングすること，跳ぶこと，水泳。 除かれるもの：乗り移り(移乗)(d420)，歩行(d450)。</p> <p>情報源： <input type="checkbox"/>病歴 <input type="checkbox"/>患者質問紙 <input type="checkbox"/>診察 <input type="checkbox"/>専門的検査</p> <p>問題の記述： P： C：</p>									

d465	用具を用いての移動	P	0	1	2	3	4	8	9
		C	0	1	2	3	4	8	9
<p>移動を容易にしたり、ふつうと違う移動方法を可能にするように設計された特別な用具を用いて、ある場所から別の場所へとどのような歩行面や空間であろうと、全身を移動させること。例えば、スケート、スキー、スキューバダイビング用具などを使っての移動、車椅子や歩行器を使って通りを移動すること。</p> <p>除かれるもの：乗り移り(移乗)(d420)、歩行(d450)、移動(d455)、交通機関や手段の利用(d470)、運転や操作(d475)。</p> <p>情報源： <input type="checkbox"/>病歴 <input type="checkbox"/>患者質問紙 <input type="checkbox"/>診察 <input type="checkbox"/>専門的検査</p> <p>問題の記述： P： C：</p>									
d510	自分の身体を洗うこと	P	0	1	2	3	4	8	9
		C	0	1	2	3	4	8	9
<p>清浄や乾燥のための適切な用具や手段を用い、水を使って、全身や身体の一部を洗って拭き乾かすこと。例えば、入浴すること、シャワーを浴びること、手や足、顔、髪を洗うこと、タオルで拭き乾かすこと。</p> <p>含まれるもの：身体の一部や全身を洗うこと。自分の身体を拭き乾かすこと。</p> <p>除かれるもの：身体各部の手入れ(d520)、排泄(d530)。</p> <p>情報源： <input type="checkbox"/>病歴 <input type="checkbox"/>患者質問紙 <input type="checkbox"/>診察 <input type="checkbox"/>専門的検査</p> <p>問題の記述： P： C：</p>									
d520	身体各部の手入れ	P	0	1	2	3	4	8	9
		C	0	1	2	3	4	8	9
<p>肌や顔、歯、頭皮、爪、陰部などの身体部位に対して、洗って乾かすこと以上の手入れをすること。</p> <p>含まれるもの：皮膚、歯、髪と髭、手足の爪の手入れ。</p> <p>除かれるもの：自分の身体を洗うこと(d510)、排泄(d530)。</p> <p>情報源： <input type="checkbox"/>病歴 <input type="checkbox"/>患者質問紙 <input type="checkbox"/>診察 <input type="checkbox"/>専門的検査</p> <p>問題の記述： P： C：</p>									
d530	排泄	P	0	1	2	3	4	8	9
		C	0	1	2	3	4	8	9
<p>排泄(生理、排尿、排便)を計画し、遂行するとともに、その後清潔にすること。</p> <p>含まれるもの：排尿や排便の管理、生理のケア。</p> <p>除かれるもの：自分の身体を洗うこと(d510)、身体各部の手入れ(d520)。</p> <p>情報源： <input type="checkbox"/>病歴 <input type="checkbox"/>患者質問紙 <input type="checkbox"/>診察 <input type="checkbox"/>専門的検査</p> <p>問題の記述： P： C：</p>									

d540	更衣	P	0	1	2	3	4	8	9
		C	0	1	2	3	4	8	9
<p>社会的状況と気候条件に合わせて、順序だった衣服と履き物の着脱を手際よく行うこと。例えば、シャツ、スカート、ブラウス、ズボン、下着、サリー、和服、タイツ、帽子、手袋、コート、靴、ブーツ、サンダル、スリッパなどの着脱と調節。 含まれるもの：衣服や履き物の着脱、適切な衣服の選択。</p> <p>情報源： <input type="checkbox"/>病歴 <input type="checkbox"/>患者質問紙 <input type="checkbox"/>診察 <input type="checkbox"/>専門的検査</p> <p>問題の記述： P： C：</p>									
d550	食べること	P	0	1	2	3	4	8	9
		C	0	1	2	3	4	8	9
<p>提供された食べ物を手際よく口に運び、文化的に許容される方法で食べる。例えば、食べ物を細かく切る、砕く、瓶や缶を開ける、はしやフォークなどを使う、食事をする、会食をする、正餐をとること。 除かれるもの：飲むこと (d560)。</p> <p>情報源： <input type="checkbox"/>病歴 <input type="checkbox"/>患者質問紙 <input type="checkbox"/>診察 <input type="checkbox"/>専門的検査</p> <p>問題の記述： P： C：</p>									
d560	飲むこと	P	0	1	2	3	4	8	9
		C	0	1	2	3	4	8	9
<p>文化的に許容される方法で、飲み物の容器を取り、口に運び、飲むこと。飲み物を混ぜる、かきまぜる、注ぐ、瓶や缶を開ける、ストローを使って飲む、蛇口や泉などの流水から飲む、母乳を飲むこと。 除かれるもの：食べること (d550)。</p> <p>情報源： <input type="checkbox"/>病歴 <input type="checkbox"/>患者質問紙 <input type="checkbox"/>診察 <input type="checkbox"/>専門的検査</p> <p>問題の記述： P： C：</p>									
d760	家族関係	P	0	1	2	3	4	8	9
		C	0	1	2	3	4	8	9
<p>血族や親類関係をつくり保つこと。例えば、核家族、拡大家族、里子をもつ家族、養子をもつ家族、義理の家族。またいとこや法的後見人のような更に遠い関係。 含まれるもの：子どもとの関係、親との関係、兄弟姉妹や親族との関係。</p> <p>情報源： <input type="checkbox"/>病歴 <input type="checkbox"/>患者質問紙 <input type="checkbox"/>診察 <input type="checkbox"/>専門的検査</p> <p>問題の記述： P： C：</p>									

d850 ^o	報酬を伴う仕事	P	0	1	2	3	4	8	9
		C	0	1	2	3	4	8	9
	<p>賃金を得て、被雇用者(常勤・非常勤を問わず)や自営業者として、職業、一般職、専門職、その他の雇用形態での労働に従事すること。例えば、職探し、就職、工作上必要な課題の遂行、要求されている時間通りの仕事への従事、他の労働者を監督すること、監督されること、個人またはグループで必要な仕事の遂行。</p> <p>含まれるもの：自営業、常勤や非常勤での雇用。</p>								
	<p>情報源：</p> <p><input type="checkbox"/>病歴 <input type="checkbox"/>患者質問紙 <input type="checkbox"/>診察 <input type="checkbox"/>専門的検査</p>								
	<p>問題の記述：</p> <p>P：</p> <p>C：</p>								

環境因子 =人々が生活し、人生を送っている物的な環境や社会的環境、 人々の社会的な態度による環境を構成する 個人が～に関してどの程度の促進因子または阻害因子を経験 しているか	完全な促進因子	高度の促進因子	中等度の促進因子	軽度の促進因子	阻害因子／促進因子なし	軽度の阻害因子	中等度の阻害因子	重度の阻害因子	完全な阻害因子	詳細不明	非該当
e120 個人的な屋内外の移動と交通のための製品と用具	+4	+3	+2	+1	0	1	2	3	4	8	9
<p>屋内外を移動するために用いる装置、製品、用具。改造や特別設計がなされたものや、使用する人の体内に装着したり、身につけたり、身の回りで使うものを含む。 含まれるもの：個人的な屋内外の移動と交通のための、一般的かつ支援的な製品と用具。</p> <p>情報源： <input type="checkbox"/>病歴 <input type="checkbox"/>患者質問紙 <input type="checkbox"/>診察 <input type="checkbox"/>専門的検査</p> <p>促進因子/阻害因子の記述：</p>											
e315 親族	+4	+3	+2	+1	0	1	2	3	4	8	9
<p>家族関係または婚姻を通じて関係をもつ人々、またその他の文化的に親族であると認知される関係にある人々。例えば、伯(叔)母、伯(叔)父、おい、めい。 除かれるもの：家族(e310)。</p> <p>情報源： <input type="checkbox"/>病歴 <input type="checkbox"/>患者質問紙 <input type="checkbox"/>診察 <input type="checkbox"/>専門的検査</p> <p>促進因子/阻害因子の記述：</p>											
e465 社会的規範・慣行・イデオロギー	+4	+3	+2	+1	0	1	2	3	4	8	9
<p>習慣、慣行、規則、価値観や規範の信念に関する抽象的な体系(例：イデオロギー、規範的世界観、道徳哲学)であり、社会的な背景の中で生じ、社会的にも個人的にも、慣行や行動に影響を及ぼしたり、それらを創り出したりするもの。例えば、道徳、宗教的行動、礼儀作法に関する社会的規範。宗教上の教義と、それによる規範や慣行。儀式または社会的集会を統制する規範。</p> <p>情報源： <input type="checkbox"/>病歴 <input type="checkbox"/>患者質問紙 <input type="checkbox"/>診察 <input type="checkbox"/>専門的検査</p> <p>促進因子/阻害因子の記述：</p>											
e550 司法サービス・制度・政策	+4	+3	+2	+1	0	1	2	3	4	8	9
<p>国の立法や法律に関連するサービス、制度、政策。</p> <p>情報源： <input type="checkbox"/>病歴 <input type="checkbox"/>患者質問紙 <input type="checkbox"/>診察 <input type="checkbox"/>専門的検査</p> <p>促進因子/阻害因子の記述：</p>											
e570 社会保障サービス・制度・政策	+4	+3	+2	+1	0	1	2	3	4	8	9
<p>所得補償を目的としたサービス、制度、プログラムであって、高齢や貧困、失業、健康状態、障害などの理由によって、一般税収あるいは拠出制度からの基金による公的な支援を必要とする人々に対するもの。 除かれるもの：経済に関するサービス・制度・政策(e565)。</p> <p>情報源： <input type="checkbox"/>病歴 <input type="checkbox"/>患者質問紙 <input type="checkbox"/>診察 <input type="checkbox"/>専門的検査</p> <p>促進因子/阻害因子の記述：</p>											

急性期ケアにおける神経系健康状態の生活機能プロフィール(短縮版)

心身機能		機能障害				
		0	1	2	3	4
b110	意識機能					
b130	活力と欲動の機能					
b140	注意機能					
b152	情動機能					
b167	言語に関する精神機能					
b215	目に付属する構造の機能					
b235	前庭機能					
b240	聴覚と前庭の機能に関連した感覚					
b270	温度やその他の刺激に関連した感覚機能					
b280	痛みの感覚					
b415	血管の機能					
b430	血液系の機能					
b440	呼吸機能					
b525	排便機能					
b535	消化器系に関連した感覚					
b710	関節の可動性の機能					
身体構造		構造障害				
		0	1	2	3	4
s110	脳の構造					
s120	脊髄と関連部位の構造					
s710	頭頸部の構造					
活動と参加		困難				
		0	1	2	3	4
d230	日課の遂行	P				
		C				
d360	コミュニケーション用具および技法の利用	P				
		C				
d410	基本的な姿勢の変換	P				
		C				
d415	姿勢の保持	P				
		C				
d420	乗り移り(移乗)	P				
		C				
d450	歩 行	P				
		C				
d455	移 動	P				
		C				
d465	用具を用いての移動	P				
		C				
d510	自分の身体を洗うこと	P				
		C				
d520	身体各部の手入れ	P				
		C				
d530	排 泄	P				
		C				
d540	更 衣	P				
		C				
d560	飲むこと	P				
		C				
d760	家族関係	P				
		C				

d850	報酬を伴う仕事	P					C				
		促進因子					阻害因子				
環境因子		+4	+3	+2	+1	0	1	2	3	4	
e120	個人的な屋内外の移動と交通のための製品と用具										
e315	親 族										
e465	社会的規範・慣行・イデオロギー										
e550	司法サービス・制度・政策										
e570	社会保障サービス・制度・政策										

心身機能, 身体構造, 活動と参加の評価: 0=問題なし, 1=軽度の問題, 2=中等度の問題, 3=重度の問題, 4=完全な問題, 環境因子の評価: 0=阻害因子/促進因子なし, 1=軽度の阻害因子, 2=中等度の阻害因子, 3=重度の阻害因子, 4=完全な阻害因子, +1=軽度の促進因子, +2=中等度の促進因子, +3=高度の促進因子, +4=完全な促進因子, 8=詳細不明, 9=非該当

P=実行状況, C=能力

急性期ケアにおける神経系健康状態のためのICFコアセット(短縮版)

心身機能 = 体系の生理的機能 (心理的機能を含む)	
b110	意識機能 周囲への意識性、明瞭性の状態に関する全般的な精神機能であり、覚醒状態の清明度と連続性を含む。 含まれるもの：意識の状態、連続性、質に関する機能。意識消失、昏睡、植物状態、遁走、トランス、憑依(つきもの)状態、薬物による意識変化、せん妄、ステューパ(中等度意識混濁)。 除かれるもの：見当識機能 (b114)、活力と欲動の機能 (b130)、睡眠機能 (b134)。
b140	注意機能 所定の時間、外的刺激や内的経験に集中する個別的精神機能。 含まれるもの：注意の維持、注意の移動、注意の配分、注意の共有の機能。注意集中、注意散漫(転導性)。 除かれるもの：意識機能 (b110)、活力と欲動の機能 (b130)、睡眠機能 (b134)、記憶機能 (b144)、精神運動機能 (b147)、知覚機能 (b156)。
b167	言語に関する精神機能 サイン(記号)やシンボル(象徴)、その他の言語要素を認識し、使用する個別的精神機能。 含まれるもの：話し言葉(音声言語)、書き言葉、および手話など他の形式の言語の受容と解釈の機能。話し言葉、書き言葉、およびその他の形式の言語による表出。話し言葉と書き言葉の統合的な言語機能。例えば受容性失語、表出性失語、ブローカ失語、ウェルニッケ失語、伝導失語で障害される機能。 除かれるもの：注意機能 (b140)、記憶機能 (b144)、知覚機能 (b156)、思考機能 (b160)、高次認知機能 (b164)、計算機能 (b172)、複雑な運動を順序立てて行う精神機能 (b176)、第2章 感覚機能と痛み、第3章 音声と発話の機能。
b215	目に付随する構造の機能 視覚機能を助ける、眼球内および周囲の構造の機能。 含まれるもの：随意的眼球運動、追視運動、目の固視などに関与する内眼筋、眼瞼、外眼筋の機能。その他、涙腺の機能、輻輳や瞳孔反射に関与する機能。機能障害の例としては、眼振、眼球乾燥症、眼瞼下垂。 除かれるもの：視覚機能 (b210)、第7章 神経筋骨格と運動に関連する機能。
b235	前庭機能 位置、バランス、運動に関する内耳の感覚機能。 含まれるもの：位置と位置覚の機能。身体のバランスと運動に関する機能。 除かれるもの：聴覚と前庭の機能に関連した感覚 (b240)。
b240	聴覚と前庭の機能に関連した感覚 浮動性めまい、転倒感、耳鳴り、回転性めまいの感覚。 含まれるもの：耳鳴り、耳内の違和感、耳閉感、浮動性めまいや回転性めまいに伴う吐き気。 除かれるもの：前庭機能 (b235)、痛みの感覚 (b280)。
b270	温度やその他の刺激に関連した感覚機能 温度、振動圧、侵害刺激を感じる感覚機能。 含まれるもの：温度、振動、震えや動揺、表面の圧迫、深部の圧迫、灼熱感、侵害刺激を感じる感覚。 除かれるもの：触覚 (b265)、痛みの感覚 (b280)。
b415	血管の機能 全身に血液を運搬する機能。 含まれるもの：動脈、毛細血管、静脈の機能。血管運動機能。肺動脈、肺毛細血管、肺静脈の機能。静脈弁の機能。機能障害の例としては、動脈の閉塞や狭窄、粥状硬化、動脈硬化、血栓塞栓、静脈瘤。 除かれるもの：心機能 (b410)、血圧の機能 (b420)、血液系の機能 (b430)、運動耐容能 (b455)。

From : J. Bickenbach, A. Cieza, A. Rauch, & G. Stucki, *ICF Core Sets : Manual for Clinical Practice*. © 2012 Hogrefe Publishing.

www.hogrefe.com

公益社団法人 日本リハビリテーション医学会(監訳) : ICF コアセット 臨床実践のためのマニュアル. Japanese Translation ©2015 医歯薬出版

b430	血液系の機能
	<p>造血機能, 酸素と代謝物質の運搬機能, および凝固機能.</p> <p>含まれるもの: 血液の産生と骨髄の機能. 血液の酸素運搬機能. 血液に関する脾臓の機能. 血液の代謝物質運搬機能. 凝固機能. 機能障害の例としては, 貧血, 血友病とその他の凝固異常.</p> <p>除かれるもの: 心血管系の機能 (b410-b429), 免疫系の機能 (b435), 運動耐容能 (b455).</p>
b440	呼吸機能
	<p>肺に空気を吸い込み, 空気と血液間でガス交換を行い, 空気を吐き出す機能.</p> <p>含まれるもの: 呼吸数, 呼吸リズム, 呼吸の深さ. 機能障害の例としては, 無呼吸, 過呼吸, 不規則な呼吸, 奇異性呼吸, 肺気腫, 気管攣縮.</p> <p>除かれるもの: 呼吸筋の機能 (b445), その他の呼吸機能 (b450), 運動耐容能 (b455).</p>
b525	排便機能
	<p>老廃物と未消化の食物を便として排出およびそれに関連する機能.</p> <p>含まれるもの: 排出, 便の固さ, 排便の頻度に関係する機能. 便意の抑制, 鼓腸. 機能障害の例としては, 便秘, 下痢, 水様便, 便失禁 (肛門括約筋不全).</p> <p>除かれるもの: 消化機能 (b515), 同化機能 (b520), 消化器系に関連した感覚 (b535).</p>
b535	消化器系に関連した感覚
	<p>食べることや飲むこと, および消化に関連した機能から生じる感覚.</p> <p>含まれるもの: 吐き気, 膨満感, 腹部の痙攣感. 胃の充満感, 球感覚 (ヒステリーの際に食道を球が上下する感覚), 胃痙攣, 胃のガス貯留, 胸やけ.</p> <p>除かれるもの: 痛みの感覚 (b280), 摂食機能 (b510), 消化機能 (b515), 排便機能 (b525).</p>
b710	関節の可動性の機能
	<p>関節の可動域と動きやすさの機能.</p> <p>含まれるもの: 脊椎, 肩, 肘, 手, 股, 膝, 足の関節や手と足の小関節の, 1つまたは複数の関節の可動性. 全身の関節の可動性に関連する機能. 機能障害の例としては, 関節の過度運動性, 有痛性関節運動制限, また五十肩, 関節炎でみられる障害.</p> <p>除かれるもの: 関節の安定性の機能 (b715), 随意運動の制御機能 (b760).</p>